

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>アブソリューション・ダッシュ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.564</b>	△RG <b>0.031</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アブソリューション・ダッシュ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

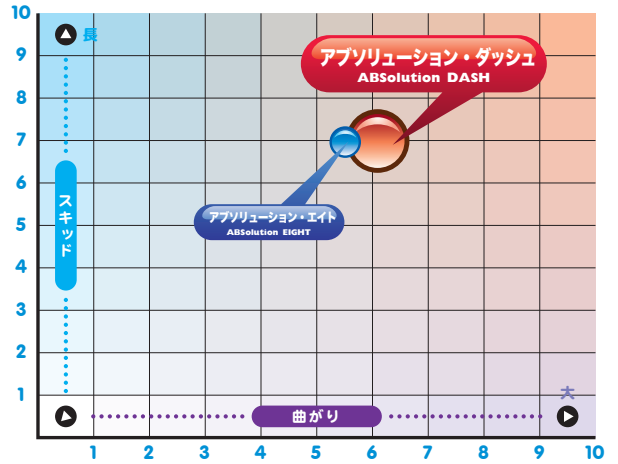
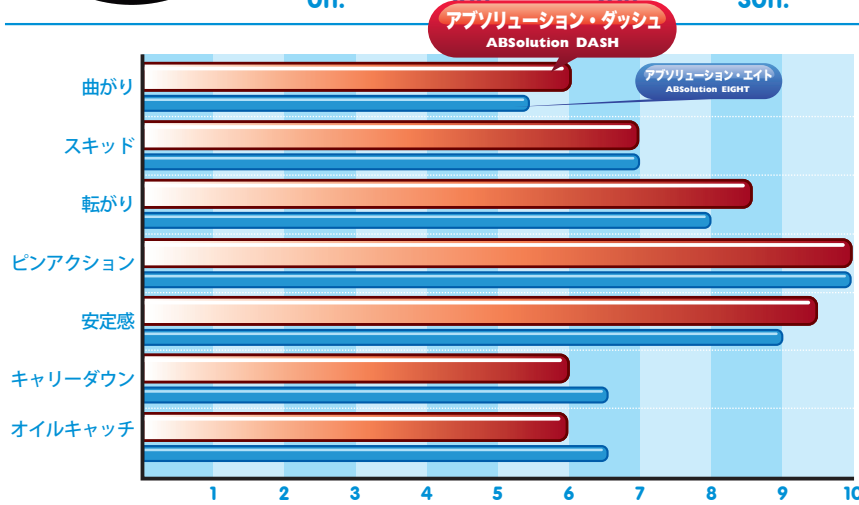
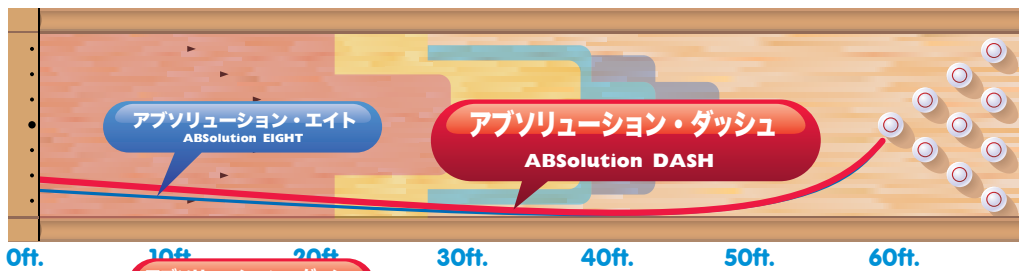
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：アブソリューション・エイト**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



## ボールの評価

日本独自の匠製法は、ナノデスを筆頭に『信頼と実績』と謳われるほど認知され、多くのファンに支えられて今があります。その国産ブランドの中でミディアムから下の領域を担うのがアブソリューションシリーズで、新しいアブソリューションダッシュは2017年6月発売のアブソリューション アクセル以来のPremiumコアを搭載したアブソリューションになります。ABSがアブソリューションシリーズに力を注ぐ理由はいくつかあり、オイルキャッチの強いボールが数多く発売される中、その後のボールチェンジのレポートが現在各社少なすぎる。キャッチが強いがゆえに曲がり得にくい状況や、健康ボウリング教室の方へ向けた曲がり大きくなく高品質なボールの必要性。ウレタンボールからリアクティブボールへのボールチェンジ時のリアクション変化の最小化などです。またウレタンボール使用までいかなるコンディションへの表面加工を視野にいた多様性を含めて、ABSボール開発チームはその課題に向き合いました。このボールを作ることにより、遅めのコンディションへの対応はもちろんのこと、スキッドを重視して大きすぎる曲がり求めないボウラーやスピード不足を補いたい方、表面加工を施しウレタンボールまでいかなるスペックを補いたい方など、幅広くそして多様化できるのがアブソリューションダッシュのおススメのポイントでもあります。現在は後半で効率的に使用できるボールが少なく、後半戦に苦しむ方も多いのではないかと思います。そんな時このアブソリューションダッシュは、あなたの心強いパートナーとして支えてくれる存在となるでしょう。

## 特記事項

**後半戦で勝負できるボールが少ない中、高性能・高品質の国産ボールがその領域をカバーします。走り系でも衝撃吸収コアシステムでピンキャリーまで期待できる逸品です。**